

意見募集する案の概要等

<p>計画の案の名称</p>	<p>第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）</p>
<p>趣旨</p>	<p>平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第1期島田市総合戦略」という。）が令和元年度をもって終了となる。</p> <p>「第1期島田市総合戦略」の評価・検証作業で明らかとなった課題等を踏まえ、国が掲げる新たな視点に重点を置き、継続を力に切れ目のない「真の地方創生」を推進するため、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画を策定する。</p>
<p>案のポイント</p>	<p>人口減少・少子高齢社会の中でも「持続可能な暮らしやすいまちづくり」を目指し、これまでの3つの基本的な考え方である「地域経済の持続的な発展（しごと）」「人口減少の克服・適応（ひと）」「持続可能な暮らしやすいまちづくり（まち）」を継承する。</p> <p>①「しごと」：地域経済の持続的な発展 基本目標1「世界で、日本で、稼ぐ産業の創出」 ・高速交通基盤の優位性や地域資源及び産業の特徴を生かした施策を展開 ・デジタルマーケティングの活用による効果的な情報発信 ・地域産業の活性化と経営基盤・競争力の強化及び「リノベーションまちづくり」をはじめとする魅力ある商業空間の形成と商業活動の活性化 など</p> <p>②「ひと」：人口減少の適応・克服 基本目標2「島田市とつながり、住み、好きになる」 基本目標3「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする」 ・シティプロモーション「島田市緑茶化計画」の推進 ・地域と多様に関わる「関係人口」の創出・拡大 ・高校や大学、経済団体と連携した将来の「地元」を担う人材育成 ・若者が希望どおり結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境の形成 など</p> <p>③「まち」：持続可能な暮らしやすいまちづくり 基本目標4「水と緑に囲まれた持続可能な暮らしやすいまちづくり」 ・市民生活の利便性確保のため、まちの活力となるにぎわいを創出する機能（医療・福祉・商業など）の地域拠点への誘導と拠点間のネットワーク化 ・多文化共生・地域共生のまちづくりの推進 ・誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる地域包括ケアシステムの構築 など</p>
<p>論点</p>	<p>基本的な方向や具体的な施策に記載した項目や内容について、市民の意見を聴取したい。</p>

<p>経緯等</p>	<p>令和元年6月 国「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を閣議決定 7月 アンケート調査実施、高校生対象ワークショップ開催 8月 閉会中の常任委員会において、策定方針等を説明 子育て世代対象ワークショップの開催 外部有識者会議である「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議及び金融機関会議」の開催（各1回開催） 6月～11月 庁内検討組織である「島田市まち・ひと・しごと創生推進本部及び幹事会」の開催（各4回開催） 11月 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議及び金融機関会議の開催（各1回開催）</p>
<p>スケジュール (予定)</p>	<p>12月2日 パブリック・コメント募集 1月10日 1月中旬 島田市まち・ひと・しごと創生推進本部、島田市まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会開催（庁内組織） 1月下旬 パブリック・コメント回答 3月中旬 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議、島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議開催 3月下旬 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定完了、公表</p>
<p>関係法令等</p>	<p>まち・ひと・しごと創生法</p>